

令和3年度

特別養護老人ホームせくれ～Secure～

事業報告書(案)



みんなの「生きる」を
社会福祉法

社会福祉法人ふれあいの里

V.令和3年度特別養護老人ホームせくれ～Secure～並びに併設型 短期入所生活介護事業所せくれ～Secure～事業報告書（案）

1. はじめに

特別養護老人ホームせくれ～Secure～は、約10年目が経過し、ご家族の方々はじめ地域の皆様、ご利用者様、職員、関係する方々すべての皆様のご協力とご理解のもと運営してこれた事に感謝いたします。

運営状況としては、昨年の12月に当事業所にて新型コロナウイルスに感染し一時、ショートステイの休止をさせていただきました。人員の確保も難しく、県の人材派遣の要請をし他法人の方々にご協力をいただきながら、クラスターを出すことなく職員一丸となって乗り越えました。ご利用者、ご家族、地域の皆様方にはご心配とご迷惑をおかけしました。

事業所といたしましては、これを糧に感染対策の強化をして参りました。入居者の皆様には少しでもこのコロナ禍ではありますが楽しみを半減させないように、行事も各棟ごとにて縮小した形で感染対策をしっかりとした上での開催としております。また外出もなかなかできない状況の中、施設内でのお菓子作りやレクリエーションなど利用者様と職員が一緒になって楽しめました。

ショートステイ稼働率につきましては、コロナ禍という事もあり、12月以降は80～90%で稼働をしております。そのような中でも当事業所を選んで来て下さるご利用者、ご家族様には大変感謝をしております。

長期入居者様については、ユニット棟で 名、従来棟で 名の方が退居されております。様々な疾患をお持ちになっている方々や、お食事を摂る事が困難になった方などを理由に医療機関に入院し退居となったケースも多くあり、事業所での今後の医療体制の確保も図っていきたいと同時に、1人1人が「死」という事に向き合えた時間でもありました。我々は医療と暮らしの場を支える役割があります。ご利用者様の為に何をしなければならないか、何ができるのか、ご利用者様自身に教えていただいた気がいたします。今後も、我々の果たすべき役割をしっかりと認識しながら、ご利用者様、ご家族様への「安心」「安全」を届けて参りたいと考えます。

2. 施設の形態及び定員

事業名	居室形態			
	4人部屋	2人部屋	個室	合計
地域密着型介護老人福祉施設 入所者生活介護	12床	2床	18床	32床
短期入所生活介護	0床	8床	2床	10床
合計	12床	10床	20床	42床

※短期入所生活介護には、空床利用型障がい者短期入所生活介護サービスの利用可能枠2床を含む。

3. 入居者の状況

(1) 出身別入居者状況

出身地別	従来棟	ユニット型10名棟	ユニット型8名棟
迫町	7名	5名	1名
南方町	3名	1名	1名
豊里町	1名	0名	0名
中田町	1名	1名	2名
登米町	0名	1名	0名
石越町	0名	0名	2名
東和町	0名	1名	0名
米山町	0名	0名	0名
津山町	0名	0名	0名
合計	11名	9名	6名

(2) 年齢別入居者状況

	～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95～99歳	100歳～	合計
男	0	0	0	0	4	1	2	1	0	0	8
女	0	0	0	0	0	2	7	7	2	0	18
合計	0	0	0	0	4	3	9	8	2	0	26

最高年齢： 98歳

最少年齢： 76歳

(3) 介護度及び男女別入居（利用）状況

① 従来型

令和4年3月31日 現在

介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合 計	平均介護度
男 性	0名	0名	0名	0名	0名	0名	
女 性	0名	1名	1名	5名	4名	11名	4.0
合 計	0名	1名	1名	5名	4名	11名	4.0

② ユニット型

令和4年3月31日 現在

介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合 計	平均介護度
男 性	0名	0名	3名	2名	2名	8名	3.9
女 性	0名	0名	0名	6名	2名	7名	4.0
合 計	0名	0名	3名	8名	4名	15名	4.0

③ 併設型短期入所生活介護

令和4年3月31日 現在

介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合 計	平均介護度
男 性	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0
女 性	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0
合 計	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0

(4) 稼働状況

①従来型

月	定員	営業日	100%稼働時日数	入居延日数	稼働率
4月	14名	30日	420日	340日	80.7%
5月		31日	434日	346日	79.9%
6月		30日	420日	340日	80.0%
7月		31日	434日	365日	84.5%
8月		31日	434日	347日	79.0%
9月		30日	420日	360日	85.2%
10月		31日	434日	370日	85.0%
11月		30日	420日	330日	78.0%
12月		31日	434日	310日	71.0%
1月		31日	434日	260日	59.3%
2月		29日	406日	190日	46.0%
3月		31日	434日	228日	52.6%
従来型平均稼働率			5,124日	3,786日	73.4%

②ユニット型

月	定員	営業日	100%稼働時日数	入居延日数	稼働率
4月	18名	30日	540日	495日	91.4%
5月		31日	558日	513日	92.2%
6月		30日	540日	500日	92.5%
7月		31日	558日	530日	94.4%
8月		31日	558日	530日	94.4%
9月		30日	540日	500日	92.5%
10月		31日	558日	505日	90.3%
11月		30日	540日	400日	74.8%
12月		31日	558日	465日	83.9%
1月		31日	558日	440日	78.6%
2月		29日	522日	300日	57.0%
3月		31日	558日	330日	59.4%
ユニット型平均稼働率			6,588日	5,508日	83.4%

③併設型短期入所生活介護（障がい者短期入所生活介護を含む）

月	定員	営業日	100%稼働時日数	入居延日数	稼働率
4月	10名	30日	300日	265日	89.3%
5月		31日	310日	250日	80.9%
6月		30日	300日	206日	69.0%
7月		31日	310日	120日	38.0%
8月		31日	310日	132日	42.9%
9月		30日	300日	146日	48.6%
10月		31日	310日	169日	54.4%
11月		30日	300日	180日	60.7%
12月		31日	310日	147日	47.6%
1月		31日	310日	163日	52.7%
2月		28日	280日	127日	45.4%
3月		31日	310日	0日	0%
併設型短期入所生活介護平均稼働率			3,660日	1,905日	57.2%

(5) 利用者負担段階別所得区分の状況

① 従来型

令和4年3月31日 現在

所得区分	1段階	2段階	3段階	4段階	合計
男性	0	0	0	0	0
女性	1	6	3	1	11
合計	1	6	3	1	11

② ユニット型

令和4年3月31日 現在

所得区分	1段階	2段階	3段階	4段階	合計
男性	0	1	6	1	8
女性	0	4	2	1	7
合計	0	5	8	2	15

③ 併設型短期入所生活介護

令和4年3月31日 現在

所得区分	1段階	2段階	3段階	4段階	合計
男性	0	0	0	0	0
女性	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0

【上記所得区分の内容】

利用者負担第1段階	住民税非課税世帯・老齢福祉年金受給者並びに生活保護受給者の方
利用者負担第2段階	住民税非課税世帯・課税年金及び合計所得金額の合計が80万円以下の方
利用者負担第3段階	住民税非課税世帯・課税年金及び合計所得金額の合計が80万円以上266万円未満の方
利用者負担第4段階	左記以外の方（課税年金収入が266万円以上の方）

(6) 日常生活の状況（従来型+ユニット型：32名対象）

① 日常生活自立度の状況【日常生活自立度（寝たきり度）判定基準】（厚生労働省）

令和4年3月31日 現在

生活自立	ランクJ	何らかの障害等を有するが、日常生活はほぼ自立しており自力で外出する	
		1. 交通機関を利用して外出する	0名
		2. 隣近所へなら外出する	0名
準寝たきり	ランクA	屋内での生活は概ね自立しているが、介助なしでは外出しない	
		1. 介助により外出し、日中はほとんどベッドから離れて生活する	4名

		2. 外出する頻度が少なく、日中も寝たり起きたりの生活をしている	5名
寝たきり	ランクB	屋内での生活は介助を要し、日中もベッドでの生活が主体であるが座位を保つ	
		1. 車いすに移乗し、食事・排泄はベッドから離れて行う	5名
		2. 介助により、車いすに移乗する	12名
寝たきり	ランクC	一日中ベッドで過ごし、排泄・食事・着脱において介助を要す	
		1. 自力で寝返りをうつ	0名
		2. 自力では寝返りをうたない	0名

② 日常生活動作の状況【日常動作判定基準】（厚生労働省）

令和4年3月31日 現在

1. 移乗	A 時間がかかっても介助無しにひとりで歩く	9名
	B 手を貸してもらうなど一部介助を要する	9名
	C 全面的に介助を要する	8名
2. 食事	A やや時間がかかっても介助なしに食事をする	13名
	B おかずを刻んでもらうなど一部介助を要する	5名
	C 全面的に介助を要する	8名
3. 排泄	A やや時間がかかっても介助無しに一人で行える	9名
	B 便器に座らせてもらうなど一部介助を要する	6名
	C 全面的に介助を要する	11名
4. 入浴	A やや時間がかかっても介助無しに一人で行える	3名
	B 体を洗ってもらうなど一部介助を要する	5名
	C 全面的に介助を要する	18名
5. 着替	A やや時間がかかっても介助無しに一人で行える	5名
	B 袖をとおしてもらうなど一部介助を要する	10名
	C 全面的に介助を要する	11名
6. 整容	A 時間がかかっても介助無しに自由に行える	13名
	B タオルで顔を拭いてもらうなど一部介助を要する	4名
	C 全面的に介助を要する	9名
7. 意思疎通	A 完全に通じる	12名
	B ある程度通じる	8名
	C ほとんど通じない	6名

③ 認知症高齢者の日常生活自立度判定基準（厚生労働省）

令和4年3月31日 現在

ランク	判定基準	人 数
I	何らかの認知症を有するが日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している	2名
II	日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても誰かが注意していれば自立できる	0名
II a	家庭外で上記IIの状態がみられる	0名
II b	家庭内で上記IIの状態が見られる	8名
III	日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが見られ、介護を必要とする	0名
III a	日中を中心として上記IIIの状態が見られる	15名
III b	夜間を中心として上記IIIの状態が見られる	1名
IV	日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする	0名
M	著しい精神症状や周辺症状あるいは重篤な身体疾患が見られ、専門医療を必要とする	0名

④ 認知症状による行動障害

徘徊	不潔行為	異食	自傷行為	心気抑うつ状態	火の扱い	幻覚	不穏興奮	妄想
0名	2名	0名	0名	4名	0名	3名	3名	3名

4. 各課毎の業務報告及び課題

平成24年6月1日より、特別養護老人ホームせくれ～Secure～が運営を開始し早いもので1年目を迎えようとしております。

各ユニットとも開所からこれまでの期間は、入居者のこれまでの『生活リズム』や『生活歴』を考慮し、生活する場所が変わっても安心して暮らせる場所『家』となるべく業務へ邁進してきました。また、介護サービスを提供する上で、知識や技術において、均等ではないため業務体制の構築へ時間を要し、より良いサービス体制の構築のため経験者、新卒者とも葛藤しながら業務へ一所懸命取り組む姿を垣間見て来たように感じます。

このような状況の中、大きな事故もなく、施設サービスを提供してこれたのも、看護、介護の責任者が中心となり、介護技術や業務へ対する姿勢、取り組み方ばかりではなく、『業務へ対する思い』を含め丁寧な指導を重ねた結果と感じます。

現在では、日常業務の他、これからの『せくれ～Secure～』のサービスの在り方について、法人の基本理念や施設経営方針を考慮しながら、業務へ取り組めるようになってきております。

今後とも介護課、相談課、看護課、栄養課、事務課、それぞれが連携を図りながら、入居者の皆様はじめ関わる全ての皆様にとって、なくてはならない施設を目指し努めてまいります。

以上を含め、令和3年度の課題と目標について、各課毎、以下のとおり報告します。

(1) 事 務 課

〇〇ボット等介護機器導入支援事業報告について

令和3年度は見守り支援システム「眠りSCAN」を従来棟・SS・ユニット棟における全居室へ配置。

目的・目標	・入居者様の体調変化の早期発見・早期対応ができ、必要時は家族への連絡がスムーズにできる。 ・入居者様の状態に合ったケアと職員の業務効率化を図る。 ・夜間帯の入居者様の安眠を確保しながらケアを行う。 ・24時間シートの資料材料として活用し、入居者様の自立支援を促す。 ・職員の心身の負担軽減を図る（優先順位をつけて業務を行える）。 ・職員の介護機器に関する興味や知識を高める（見守りの補助役＝介護ロボットを活用するという「意識の土台作り」）。 ・他施設、他事業所等関係機関並びに地域住民へ介護機器の普及を図る。
目的・目標達成のための手段（施設での工夫をしたとる等）	・新規入居者様の生活リズムを把握し、24時間シートの反映に繋げる。 ・ショートステイの利用報告書へ現在より詳しく睡眠状態等の報告ができる。 ・ターミナルのアラーム設定基準(呼吸・心拍数)を決め、早期対応(嘱託医・家族への連絡)ができる。 ・ノンレム睡眠・レム睡眠を生かした介助(トイレ誘導等)ができる。 ・定期的巡視回数を減らすことで、優先すべき利用者様の介助にあたることができ、少しでも一人夜勤体制による身体的・精神的負担の軽減へ繋げる。（優先順位をつけて業務を行える） ・介護機器メーカーへ依頼し、研修会を開催し、介護機器の理解と的確な操作方法を学ぶ。 ・施設内のユニット会議や各委員会でその都度、職員の意見や使用状況について振り返りを図る。

事務課 令和3年度の課題

職員の目線での入居者様へのサービスが増えてきている1年間であったと思います。入居者様に寄り添い意見や要望を引き出し、日々のサービスに「**プラス1：入居者様にとって良いことや要望に答えるサービス**」を行うことが職員一人一人の使命であると考えます。また、職員としての基礎・基本に振り返り、職員一人一人に課せられた役割をしっかりと実行することも重要であると考えます。地域における公益的な取り組みより、目の前の入居者様へのサービスだけではなく地域住民へ向けた社会福祉事業にとどまらないサービスを行うという社会福祉法人としての役割を果たすことを忘れず、重点施策を1つでも達成できるよう、次年度へ取り組んで参ります。

課題を改善するために講ずる計画の概要

昨年度より引き続き、社会福祉法人の職員としての役割、各関係法令や法人・施設の方針や目的など「基礎・基本」を周知・理解することが必要であると考えております。実行するだけではなく、目標に対する達成期日を明確にし、どこまで達成できているか、振り返りや評価を行うよう努めて参ります。目標や目的の設定については、事業計画書など示された内容について「見る・知る機会」を毎回の会議や委員会をとおして、周知して参ります。また周知した後、職員の理解度や行動後の評価も同時に進め、職員みなが同じ方向を向けるよう、会議や委員会、そして日頃の関わり方で、職員と向き合っていきたいと考えております。周知する際の相手への「配慮」を忘れず、相手の目線に立って、説明や報告ができるよう、周知方法についても改善してまいります。

(2) 相 談 課 (生活相談員・介護支援専門員関係)

①主な業務報告

【ケアカンファレンスの開催状況】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
8名棟	1	2	2	1	1	0	2	3	2	1	1	1	17	1.4
10名棟	2	0	1	2	2	3	1	1	3	1	2	2	20	1.7
従来棟	3	2	0	2	2	4	2	2	1	2	2	3	25	2.1
合 計	6	4	3	5	5	7	5	6	6	4	5	6	62	5.5

※入居者へ対し、3ヶ月に1回モニタリング、6ヶ月に1回ケアプランの見直し、1年に1回、ケアプランの立案を行った。

※ケア、栄養、機能訓練のケアプランを反映させた、入居者個々の24時間シートを整備した。

【月別入居者数】

ユニット/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
従来棟	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	4	0.33
10名棟	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	2	0.16
8名棟	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.08
合 計	1	0	2	1	0	2	0	1	0	0	0	0	7	0.58

【月別新規入居申込の状況】

介護度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護3	1	2	1	0	0	0	0	0	0	2	0	1	7
要介護4	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	3
要介護5	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	3
合 計	1	3	1	0	0	1	1	1	0	2	1	2	13

【地域別入居申込の状況】

令和4年3月31日現在

	迫町	登米町	東和町	中田町	豊里町	米山町	石越町	南方町	津山町	他市町村	計
男	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3
女	4	0	2	0	0	3	0	1	0	0	10
計	6	0	3	0	0	3	0	1	0	0	13

【退居状況】

1. 退居理由

令和4年3月31日現在

	希望退居	施設間異動	入院継続	死亡（施設）	死亡（病院）	合 計
男	0名	0名	0名	0名	1名	1名
女	0名	1名	2名	0名	5名	8名
計	0名	0名	2名	2名	5名	9名

2. 月別退居者数

ユニット/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
従来棟	0	0	0	2	0	0	1	0	1	0	0	1	5	0.41
10名棟	0	0	1	0	0	1	1	0	0	1	0	0	4	0.33
8名棟	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	0	0	1	2	0	1	2	0	1	1	0	1	9	0.75

② 課題及び改善計画

相談課 令和3年度の課題
1. 長期入居に空床を作らないようにし、短期入所の稼働を維持する。 2. 入居者の満足度を上げるための良いケアの提供のため、しっかりと <u>入居者と向き合える体制づくり</u> を行う。 3. 入居者の楽しみ（非日常）の部分を他課連携のもと、継続して行う。
課題を改善するために講ずる計画の概要
長期入居においても9名の退居、7名の入居と入れ替わりの多い1年となりました。空床に関しては短期入所にて居室をご利用いただき、空床を少なくすることができました。今後も空床を減らすべく、入居者皆様が1日でも長く元気に過ごせるよう、各課との連携を図りたいと思います。 入居者のケアに関しては、24時間シート、ケアプランを有効活用し、より良いケアを提供していきたいと思っています。今後は <u>入居者とこれまで以上にしっかり向き合い、よりご本人らしい意向を汲み取り、ケアプランに反映させることで、本人の意向に沿ったケアの提供に努めていきたい</u> と思っています。 毎月実施してきた、カフェ、居酒屋のクラブ活動は入居者皆様からも好評の声をいただいております。今後も各課と連携し定期開催を行い入居者皆様の非日常の提供へとつなげていきたいと思っています。

(3) 看 護 課

① 主な業務報告（健康管理の状況）

入居者様の健康状態を観察し、小さな変化も見逃さないよう、入居者様一人一人と関わりをもち、体調不良時には速やかに対応を行うよう努力して参りました。

また、各課との連携と情報の共有を図り、入居者様が毎日を笑顔で過ごせるよう看護師の立場から援助していきたいと考えております。

【嘱託医の回診状況】

嘱託医（宮崎裕医師）による週1回の回診では、入居者様への適切な処置や日常生活における健康管理をご指導頂き、快適な暮らしができるように体調の管理に努めて参りました。

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
回診回数	4回	4回	5回	4回	4回	5回
人 数	155名	123名	118名	155名	128名	127名
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
回診回数	4回	4回	5回	4回	4回	5回
人 数	151名	128名	127名	122名	128名	157名

【歯科医師の回診状況】

月1回協力歯科医（千葉明宏先生）に診察を受け、適切な処置や歯磨きの指導をしていただき、口腔内の清潔保持と口腔機能低下の予防に努めて参りました。

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
回診回数	1回	1回	1回	1回	1回	1回
人 数	6名	6名	5名	7名	7名	9名
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
回診回数	1回	1回	1回	1回	1回	1回
人 数	6名	6名	6名	6名	6名	7名

【理学療法士の指導状況】

個別リハビリの充実を図るため、月2回氏家理学療法士の指導でプログラムを作成し機能回復訓練を実施するとともに、入居者様それぞれに応じた筋力維持運動・関節可動域訓練を実施しました。また、日常生活の中で行うレクリエーションやクラブ活動を通して身体機能低下の予防を図りました。

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
指導回数	2回	2回	2回	2回	2回	2回
人 数	17名	17名	19名	14名	16名	16名
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
指導回数	2回	2回	2回	2回	2回	2回
人 数	13名	15名	18名	15名	17名	15名

【入院の状況】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内 科	2名	2名	1名	0名	0名	2名	1名	0名	1名	0名	3名	1名	13名
外 科	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名
泌尿器科	0名	0名	1名	1名	0名	0名	0名	0名	0名	1名	0名	0名	3名
脳外科	0名	1名	1名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	2名
整形外科	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名

【通院の状況】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
内 科	2名	2名	0名	0名	3名	7名	0名	0名	1名	0名	2名	3名	20名
外 科	0名	0名	0名	0名	1名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	1名
透 析	26名	28名	20名	14名	13名	13名	13名	26名	26名	23名	24名	19名	245名
整 形	1名	1名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	1名	3名
腎臓内科	0名	1名	1名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	2名
脳 外 科	0名	1名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	1名
皮 膚 科	0名	1名	0名	0名	1名	0名	0名	0名	1名	3名	0名	0名	6名
齒 科	0名	0名	2名	4名	2名	2名	5名	2名	1名	0名	1名	2名	21名
婦 人 科	1名	2名	1名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	4名
精 神 科	0名	0名	1名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	1名

【結核健診の実施状況】

※令和4年2月14日付、宮城県結核予防会より胸部レントゲン撮影24名を実施。
(他1名：透析にて毎月1回撮影済み)

② 看護課 課題及び改善状況

看護課 令和3年度の課題
1. 入居者様のご家族に対して入居者様の健康状態が上手く伝わっていない。
課題を改善するために講ずる計画の概要
入居者の状態把握の為に居室への巡回に加え、入居者様とのコミュニケーションを取りながらその方の状態観察を行ってきた。また会議、委員会などに参加し、看護課としての情報の提供や介護その他の課からの情報収集にも努め、ご家族様の面会時や問い合わせがあった際は対応してきた。

(4) 栄 養 課

①栄養管理部門の主な業務報告

毎日バランスの摂れた食事を安全面も考慮しながら無事に提供し続けることが出来ました。給食だけでは行き届かない面は、定期開催のカフェや居酒屋の実施で入居者様の嗜好や要望をかなえた、こまやかな対応をすることが出来ました。他課との協力・連携あつての食事提供であるということを念頭に置き、今後もせくらしい食事作りを心がけていきます。

【食事形態と提供給食数】

1. ユニット型 長期入居（定員：18名）

令和4年3月31日現在

月	常食	ソフト食	ムース食	ミキサー	軟菜食	経管	合 計 (1日平均)
4月	9.9	27.0	9.4	4.8	0.0	0.0	51.1
5月	12.0	27.0	6.0	3.1	0.0	0.0	48.1
6月	9.6	27.0	8.1	3.0	3.0	0.0	50.7
7月	12.0	24.0	24.0	3.0	3.0	0.0	66.0
8月	14.6	24.0	24.0	3.0	3.0	0.0	68.6
9月	15.0	22.3	9.0	3.0	3.0	0.0	52.3
10月	15.3	16.7	9.0	3.0	3.3	0.0	47.3
11月	15.0	21.0	9.0	3.0	6.0	0.0	54.0
12月	15.0	21.0	8.1	3.0	6.0	0.0	53.1
1月	15.0	21.0	6.0	1.8	6.0	0.0	49.8
2月	18.0	21.0	6.0	3.0	6.0	0.0	54.0
3月	18.0	21.0	6.0	3.0	6.0	0.0	54.0
合 計	169.4	273	124.6	36.7	45.3	0.0	649.0

2. 従来型 長期入居（定員：14名）

令和4年3月31日現在

月	常食	軟菜	ソフト食	ムース食	ミキサー	経管	合 計 (1日平均)
4月	9.0	18.0	6.0	6.0	3.0	0.0	42.0
5月	9.0	18.0	6.0	6.0	3.0	0.0	42.0
6月	9.0	18.0	6.0	6.0	3.0	0.0	42.0
7月	9.0	18.0	6.0	6.0	3.0	0.0	42.0
8月	9.0	18.0	6.0	6.0	3.0	0.0	42.0
9月	9.0	18.0	6.0	6.0	3.0	0.0	42.0
10月	9.0	18.0	6.0	6.0	3.0	0.0	42.0
11月	9.0	18.0	6.0	6.0	3.0	0.0	42.0
12月	9.0	18.0	6.0	6.0	3.0	0.0	42.0
1月	9.0	18.0	6.0	6.0	3.0	0.0	42.0
2月	9.0	18.0	6.0	6.0	3.0	0.0	42.0
3月	8.4	18.0	0.0	6.0	3.0	0.0	41.4
合 計	107.4	216.0	72.0	72.0	36.0	0.0	503.4

3. 併設型短期入所生活介護（定員：10名）

令和4年3月31日現在

月	常食	ソフト 食	ムース 食	ミキサ ー	軟菜食	経管	合 計 (1日平均)
4月							
5月							
6月							
7月							
8月							
9月							
10月							
11月							
12月							
1月							
2月							
3月							
合 計							

【行事食の提供状況】

行事食に関しては、季節毎に工夫を凝らし、普段とは一味違った食事を楽しんでいただけるよう、心がけました。観桜会の際には、お花見弁当を提供し、入居者皆様と職員で桜を見ながら同じお弁当を味わう機会や、長寿を祝う会では、バイキング形式で提供し、入居者の皆様や御家族に楽しんで頂くことが出来ました。

提供月日	行事食名	献立内容
4月11日	観桜会	桜ちらし、天ぷら、鯖の西京焼き、炊き合わせ、果物盛り合わせ、茶碗蒸し
4月29日	昭和の日	セレクトメニュー A ナポリタン B ピラフ
5月13日	母の日	シーフードカレー オムレツ ほうれん草とベーコンの炒め物 ヨーグルト
6月1日	開設記念	そば、助六セット、天ぷら盛合、炊合せ、果物盛合
6月24日		セレクトメニュー A 焼きそば B 野菜炒め定食
7月7日	七夕	七夕ちらし寿司 京菜と豆腐のスープ 星ポテト 杏仁豆腐
7月15日	海の日	冷やし中華定食
7月27日	土用の丑の日	うな重風、吸い物、海老ともやし炒め 柚子ゼリー
8月10日	山の日	おにぎり(2こ) 豚汁 卵焼き きんぴらごぼう
8月24日	納涼祭	ハムカツカレー ヨーグルト

9月13日	十五夜	セレクトメニュー A月見うどん B月見丼+すまし汁
9月16日	長寿を祝う会	バイキング
10月11日		セレクトメニュー Aけんちゃんうどん B ゆかりご飯
10月31日	ハロウィン	ドライカレー パンプキンスープ ほうれん草の炒め物
11月3日	文化の日	ご飯 清汁 お刺身2点盛り 卵豆腐 甘酒
11月20日	収穫祭	おにぎり いも煮汁 はっと
11月23日	勤労感謝の日	ねぎとろ丼 清汁 だし巻き卵 甘酒
12月24日	クリスマス	クリスマスバイキング
12月31日	年越し	ご飯、年越しそば、赤魚の煮付け、野菜かき揚げ 茶碗蒸し
1月1日	元旦	ご飯、清汁、豆腐のかにあんかけ、おせち3点盛、紅白なます
1月2日	2日	ご飯、みそ汁、筑前煮、おせち3点盛、浅漬け
1月3日	3日	ご飯、みそ汁、厚揚げの和風あんかけ、おせち3点盛、黒豆
1月7日	七草粥	七草粥、豚汁、鮭塩焼き、春菊くるみ和え
1月13日	新年会	お寿司、天ぷら盛合、紅白テリーヌ、木の葉南瓜、炊き合わせ、茶碗蒸し
1月15日	小正月	小豆粥、けんちゃん汁 ブリ大根 かぼちゃのそぼろ煮
2月3日	節分	散らし寿司、けんちゃん汁 イワシ団子のみぞれ煮 やわらかきんとき
2月11日	建国記念日	ご飯、清まし汁、カツオのたたき ほうれん草の煮びたし
2月14日	バレンタインデー	ドライカレー クラムチャウダー ハートハンバーグ フルーツ杏仁豆腐
3月3日	桃の節句	お桜ちらし寿司、吸い物 花形豆腐ハンバーグ 三色ゼリー
3月20日	春分の日	山菜そば、筍ごはん 春野菜の天ぷら 菜の花お浸し

【非常食の備蓄状況】

非常災害に備え、3日間9食分を備蓄しております。また、東日本大震災を教訓とし、調理方法など工夫を凝らした食事が提供できるよう、給食委員会の場を活用し整備して参ります。

食品名	数 量	食品名	数 量
災害用 S50 白飯(5 kg)	7 ケース	五目豆(BH)(48 個入)	1 ケース
災害用 S50 五目御飯(5 kg)	1 ケース	ひじき(BH)(48 個入)	1 ケース
イソップ 災害パン オレンジ(24 個入)	2 ケース	切干大根(BH)(48 個入)	1 ケース
レスキュー みそ汁(24 個入)	10 ケース	かぼちゃいとこ煮(BH)(48 個入)	1 ケース
コーンポタージュ(30 個入)	2 ケース	朝からフルーツ黄桃(24 個入)	1 ケース

レスキュー ウィンナーと野菜のスープ煮(24 個入)	2 ケース	朝からフルーツミックス(24 個入)	1 ケース
おいしい防災食 豚汁(50 個入)	2 ケース	朝からフルーツ杏仁(24 個入)	1 ケース
レスキュー 牛肉大和煮(24 個入)	2 ケース	ピュアマンウーロン茶(30 本入)	4 ケース
レスキュー マーボー丼(24 個入)	2 ケース	野菜生活 100 オリジナル(30 本入)	4 ケース
レスキュー 鶏肉うま煮(24 個入)	2 ケース	レスキュー中華丼の素(24 個入)	2 ケース
徳用ビーフカレー ジャンボサイズ(9 kg)	1 ケース	JA 全農千葉白粥(50 食入)	2 ケース
サバのみそ煮 EO(48 個入)	1 ケース	さんま味付生姜風味(48 個入)	1 ケース
いわし味付け EO(48 個入)	1 ケース	立山の天然水 5 年保存(21×6 本)	5 ケース
サトイモいか(BH)(48 個入)	1 ケース	5 年保存水(1.5l×8 本)	4 ケース

※ 3 日分の非常食となります。

② 栄養課 課題及び改善状況

栄養課 令和3年度の課題
1. 栄養課職員 1 人 1 人が、入居者様の摂食状況や疾病等も把握しつつ食事作りに取り組む。 2. ユニット調理を介護課と協力して行う。職員からの企画提案の依頼がある時は協力し実行出来るように努める。
課題を改善するために講ずる計画の概要
①調理をする際に、なぜこの入居者様はこの食形態で、この提供方法になっているのか関心を持ち、現状を把握することで、調理に取り組む際の注意点をより意識できるようにする。 ②入居者が慣れ親しんだ料理を介護課と協力し、一緒に作って食べる楽しみを味わって頂く。毎年行っている嗜好調査の結果を活かすことはもちろん、各棟で誕生会などの機会に行っている間食作りは継続して行っていけるよう、企画調整に努める。

(5) 介護課

入居前の生活と入居後の生活が継続したものとなるよう、24 時間シートの作成に力を入れて参りました。しかし、なかなか活用がうまくできておいたことがありません。まずは、入居者様とコミュニケーションを密にとり気づける職員を目指すことを、今まで以上に取り組んでまいりたいと思います。職員一人ひとりがきちんとした配慮ができ、社会人として恥ずかしくない行動が取れるように行い、ご家族様の満足度やサービスの向上に努めていきたいと思っています。今後も「基礎・土台」を忘れることなく、入居者様のための自

立支援に繋がっていただければと思います。

また、以前から導入しておりました、介護機器・眠りスキャンについてもご家族様の安心に繋がられるように、今後も活用してまいりたいと思います。

【入浴の実施状況】

ユニット名	入浴種別	3月31日
8名棟	一般浴	1名
	中間浴	4名
	特浴	2名
10名棟	一般浴	1名
	中間浴	5名
	特浴	2名
従来棟	一般浴	7名
	中間浴	0名
	特浴	4名

【全体の状況】

入浴種別	対象者数
一般浴	9名
中間浴	9名
特浴	8名

ユニット別の特徴及び考察

入居者1名に対し、週2回以上の入浴を実施している。体調不良などにより入浴できない場合は、代替えとして全身清拭、部分清拭を行っている。各ユニット毎の入浴介助における特徴及び考察については、以下の通りです。

○8名棟

- ・歩行、立位を保持される方については、ユニット内の個浴にて入浴されています。
- ・立位不可でも、座位が保てる方は、中間浴にて入浴されています。
- ・立位、座位が保てない方は、特浴にて状態に合わせて入浴されています。
- ・体調等入浴出来ない場合は入浴日変更、もしくは清拭の代替え対応しております。

○10名棟

- ・歩行、立位を保持される方については、ユニット内の個浴にて入浴されています。
- ・立位不可でも、座位が保てる方は、中間浴にて入浴されています。
- ・立位、座位が保てない方は、特浴にて状態に合わせて入浴されています。
- ・体調等入浴出来ない場合は入浴日変更、もしくは清拭の代替え対応しております。

○従来棟

- ・立位、座位保持可能な方は、個浴にて入浴されています。
- ・立位、座位保持できない方は、特浴にて入浴されています。
- ・ご本人様の心身の状況、本人様の希望や意向に合わせシャワー浴を実施しています。
- ・ショートステイをご利用の方は、本人様の希望によりユニットの中間浴を使用します。

【ユニット別 排泄状況】※1日をとおしたケアにおいて、対象人数を記載。

ユニット別	介助別	3月31日現在
8名棟	おむつ交換	4名
	トイレ誘導	2名
	排泄介助	6名
	留置カテーテル	1名
	計	13名
10名棟	おむつ交換	7名
	トイレ誘導	2名
	排泄介助	9名
	留置カテーテル	0名
	計	18名
従来棟	おむつ交換	4名
	トイレ誘導	2名
	排泄介助	6名
	留置カテーテル	0名
	計	12名

ユニット別の特徴及び考察

○8名棟

- ・尿意、便意がある方は、訴え時トイレ誘導を行い排泄されています。
- ・尿意、便意がなく歩行可能な方は、その方のリズムに合わせトイレ誘導を行い、排泄介助を行っています。
- ・尿意、便意がなく立位困難な方は、オムツにて対応しています。
- ・入居者個々の状況に合わせたトイレ誘導、オムツ交換を実施しています。
- ・入居者個々の排泄量、皮膚の状態等に配慮し、パッドの種類を使い分けています。

○10名棟

- ・尿意、便意がある方は、訴え時トイレ誘導を行い排泄されています。
- ・尿意、便意がなく歩行可能な方は、その方のリズムに合わせトイレ誘導を行い、排泄介助を行っています。
- ・トイレ誘導については、訴え、または排泄シグナルを見落とさず、実施しています。
- ・入居者個々の状況に合わせたトイレ誘導、オムツ交換を実施しています。
- ・入居者個々の排泄量、皮膚の状態等に配慮し、オムツの種類を使い分けています。

○従来棟

- ・歩行、立位可能な方は、定時のトイレ誘導、声掛けにて対応しています。
- ・歩行、立位出来ない方は、定時のオムツ交換にて対応しています。
- ・入居者個々の状況に合わせたトイレ誘導、オムツ交換を実施しています。
- ・入居者個々の状況により夜間オムツ交換の方でも日中職員2名にて、

トイレ介助を行っております。

- ・入居者個々の排泄量、皮膚の状態等に配慮し、オムツ、パットの種類、オムツの回数を検討し、対応しております。

【ユニット別 食事介助状況】

ユニット別	介助別	3月31日現在
8名棟	全介助	2名
	一部介助	2名
	自立（セッティング）	3名
	計	7名
10名棟	全介助	3名
	一部介助	1名
	自立（セッティング）	4名
	計	8名
従来棟	全介助	3名
	一部介助	2名
	自立（セッティング）	6名
	計	11名

ユニット別の特徴及び考察

○8名棟

- ・自立の方は、個々の食べるペースを尊重し、見守りを行っております。
- ・途中で手が止まってしまう方には声掛け、又一部介助にて対応しております。
- ・居室で食べたい方へは定期的に巡回し見守りしながら安全に食事が食べられるよう、配慮しております。

○10名棟

- ・基本的に提供時間は決まっていますが、食事提供時間内でそれぞれ好きな時間に食べて頂いております。また、出来る限りご自分で食べて頂けるよう、声掛け、配慮しながら必要時に介助行っております。
- ・入居されている方の楽しみでもあり、生命の維持に重要な『食べる』を大切に職員同じ思いで食事の時間を提供させて頂いております。入居者個々のペースで、ゆっくり落ち着いて、楽しい雰囲気の中で、環境にも配慮しながら食事を提供できるよう、努めています。

○従来棟

- ・配膳、セッティングは職員が行い、自力摂取を基本とし、見守り、声掛けを中心に食事ケアを実施しております。
- ・食べこぼしや途中で手が止まってしまう方には、見守りや声掛けを行い、可能な限り自力摂取できるように促し、自力摂取、一部介助、全介助と見守りながら介助して

います。

- ・ 離床が負担になり、居室で食べたい方、一人でゆっくり食べたい方等居室でご本人の要望に応じた対応を心掛けています。
- ・ 入居者の状態や意向をお聞きしながら、嗜好品を購入して対応しております。

【ユニット別 余暇活動実施状況】

ユニット/月	余暇活動	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ユニット	外出支援	0	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	4
	お菓子作り	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	誕生会	0	1	0	1	1	1	1	0	1	1	1	1	9
	ユニット行事	0	1	1	1	0	1	1	2	1	0	1	0	9
	個別外出	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
従来棟	ユニット行事	1	1	2	2	1	1	1	1	0	0	1	1	12
合 計		1	4	4	5	3	4	3	3	3	1	3	2	36

【ひやりはっと・事業報告状況（ユニット別）】

入居者の日々の変化を気づけられるように日々邁進しております。介護ロボット（眠りスキャン）の導入で居室内での状況、睡眠状態を以前より把握できておりますが、ショート入居者様の行動に対し予測ができないことがあります。そのため事故の件数は、前年度に比較すると多くなっております。ヒヤリハット報告件数も前年度より増加しており、職員が日々のケアの中で「気づき」を高められたと思います。今後も事故の発生を未然に防ぐ為のヒヤリハット報告（気づき）を多くして、施設職員全体での危険予知トレーニングを実施します。職員の危険に対する意識を高めながら、職員全員が共通認識を持ち、事故防止に努めていきたいと思っております。

ユニット/月	余暇活動	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
8名棟	ヒヤリハット	4	1	2	4	3	3	2	5	2	1	0	0	27
	事故報告	0	2	2	2	2	2	4	1	0	0	1	0	16
10名棟	ヒヤリハット	5	1	5	1	1	2	1	3	0	2	0	0	21
	事故報告	2	0	1	4	3	3	1	3	1	0	1	3	22
従来棟	ヒヤリハット	17	13	20	5	2	6	6	7	17	7	5	1	106
	事故報告	13	10	4	9	7	5	8	4	13	3	5	4	85
合 計		41	27	34	25	18	21	22	23	33	13	12	8	277

②課題及び改善状況

ユニット型 8・10名棟

ユニット型 8・10名棟 令和3年度の課題
施設の共通目標は「入居者様の笑顔の為に」となっております。ユニットでは、業務に追われ入居者様と寄り添いの時間が取れていない現状である。「入居者様が生活する上で何を望んでいるのか」をしっかりと向き合い、自立した生活支援に向けて必要とする介助はどうか、観察する目を養うことをユニットの目標とし、取り組んで参ります。入居者様一人一人が安心して笑顔で元気に暮らすことができるように努めていきたいと思ひます。せくれ開設から10年が経過し、業務の見直しを定期的な実施し、業務改善を行ひながら入居者様との「寄り添ひ」、理念にもあるように「気づき」を大切に考え、ユニット棟職員全員で取り組んで参ります。 また、もう一つの課題でもある空床時の対応についても、各課と連携を強くし収益に繋げられるようにしていきまひす。
課題を改善するために講ずる計画の概要
① ユニット会議にて定期的な業務の見直しをかけ、業務効率化を図り、時間を有効的に使ひ入居者との寄り添ひの時間を作り出す。 ② 入居者と接する際は入居者目線で考え、常に相手の立場になつて関わりを持つ。 ③ 基礎土台共通ツールを活用し個々の状態、自立度を観察し必要な分のケアを提供する。 ④ 生活の中でのリハビリを行う。役割の継続、またその方に合つた役割を見つけ意欲を持ち生活を送れるよう支援する。 ⑤ 入居者の楽しみを創出する。個々に合わせたレクリエーションやリハビリ、活動を実施する。 ⑥ 各課との繋がりを強くし、空床時早急な対応を行ひショートステイの利用に対応していく。ショートの稼働へ貢献していく。

従来棟（多床室）

従来型（多床室） 令和3年度の課題
昨年同様、職員一人一人が、自分の置かれている職責をきちんと理解しきれていない為、使命、目的、目標を見失つてしまつていたように思ひます。会議等で基礎・土台を勉強しながら使命目的について勉強してまいりました。今年度は、社会人としての意識が不足していたように思ひますので、どうしたらいいのか？を一人に考えていただきながらより良いケアができるように努めて参ります。寄り添ひを持ちながら24hシートを上手に活用し、今持っている機能を低下させないように、趣味、嗜好に合わせた活動をしていきたいと思つておひります。 介護機器については、眠りスキャンの導入により、入居者様をより深く知る事ができ、家族様や職員の安心につながる事が出来ました。また、今後も介護機器を使用しながら、スキルアップにも力を入れながらケアにあたりたいと思ひます。

課題を改善するために講ずる計画の概要

- ① 職員一人ひとりが目標を持って入居様の笑顔を引き出さるよう努力して参ります。
- ② 家族様の安心や職員の心身の負担軽減の為に昨年度同様に眠りスキャンを活用して行きたいと思ひます。
- ③ より良いケアができるように、努力を惜しまずにスキルアップを目指し内部研修、棟会議などで勉強して参ります。
- ④ 職員間のコミュニケーションづくりを図り、同じ目線で統一したケアをするように致します。

5. 特別養護老人ホームせくれ〜Secure〜 各会議の開催状況

会議名	参加者職氏名	開催日	会議内容
1. 運営推進会議	・登米市福祉事務所 長寿介護課担当職員 ・迫町地域包括支援センター 高橋辰様 ・新田駅前地区 区長 石川法夫様 ・新田駅前地区民生委員 佐藤由美子様 ・せくれ家族会会長 酒井俊則様 ・入居者代表3名 ☆佐藤裕一施設長 ・近藤美喜事業係長 ・佐藤教充全体主任 ・菅原有佑全体主任 ・及川雅敏部署主任 ・看護責任者 ・櫻井順子栄養士	令和 3年 4月 24日 令和 3年 6月 26日 令和 3年 8月 27日 令和 3年 10月 30日 令和 3年 12月 25日 令和 4年 3月 26日 ※コロナウイルス感染症対策により、令和3年4月以降の開催については中止。(登米市福祉事務所と協議の上、中止を決定) ※内容について書面にて各構成員の皆様に送付している。	・法人及び施設の概要説明 ・事業計画、報告 ・運営推進会議規約及び構成員の承認について ・入居者現況報告 ・ひやりはっと、事故報告 ・苦情意見及び改善状況報告 ・行事計画及び実施報告(納涼祭、新年会、敬老会等) ・総合防災訓練実施報告 ・研修参加状況報告 ・実地指導監査報告について ・クラブ活動実施計画について ・地域における公益的な取り組み活動方法について ・脱水対策について ・感染症対策報告について ・年間事業計画及び事業報告(看護課、介護課、栄養課、相談課、事務課より) ・質疑応答 ・各構成員より
2. 地域協力員会議	・地域協力員 ・佐藤裕一施設長 ☆阿部健治防火管理者 ・菅原有佑全体主任 ・及川雅敏部署主任 ・氏家健一	令和 3年 6月 25日 令和 3年 10月 22日 令和 4年 3月 25日 ※コロナウイルス感染症対策により、令和2年3	・地域協力員の紹介 ・総合防災訓練計画及び実施報告について ・緊急時の連絡体制について ・各ユニット毎による、入居者の現況報告、避難誘導時の入

	・小林克彦 ・岩渕聡史	月以降の開催については中止。(登米市福祉事務所、地域協力員と協議の上、中止を決定)	居者対応の注意点 ・総合防災訓練の反省点 ・パッケージ型消火栓を使用した消火訓練の試みについて ・普通救命講習会の実施報告 ・質疑応答 ・地域協力員より
3. 職員全体会議	・特養せくれ全職員	令和 3 年 4 月 30 日 令和 3 年 9 月 26 日 ※別途、役職者会議や個別面談を通して施設方針、事業計画の説明等を実施。	・施設方針及び重点施策 ・人材育成について ・資金収支分析報告 ・ショートステイの稼働報告 ・行事計画について ・職員アンケートの実施 ・内部研修「ビデオ鑑賞」 ・感染症対策とラジオ体操 ・研修復命について (3 件) ・職員アンケート実施報告 ・年次有給休暇の取得について ・稟議書における決済について ・業務改善及びマナーについて ・目標管理と評価について ・関係諸規則説明 ・各課の事業計画について
4. ユニット会議 【8、10 名棟合同】	・近藤事業係長 ☆佐藤教充全体主任 ・阿部健治ユニットリーダー ・鹿野佑太ユニットリーダー ・尾形信衛サブリーダー ・各ユニット職員 ※各課職員については必要に応じ参加することとする。	令和 3 年 5 月 20 日	・平成 31 年度委員会について ・委員会より報告事項 ・ユニット入居者担当について ・基礎、土台より (法人理念施設経営方針) ・ガバナンス強化について ・入居者様情報共有
		令和 3 年 6 月 13 日	・入居者様情報共有 ・ユニット役割分担表について ・ガバナンス強化 ・事業計画について ・委員会より報告事項 ・外出等連携について
		令和 3 年 7 月 12 日	・法人理念読み合わせ ・入居者様情報共有

			・業務見直しについて ・ユニット役割分担表について ・委員会より報告事項 ・身体拘束について（棟研修）
		令和 3年 8月15日	・基礎土台（施設経営方針） ・法人理念読み合わせ ・入居者様情報共有 ・高齢者虐待に関して（棟研修） ・業務見直しについて ・委員会より報告事項
		令和 3年 9月16日	・入居者様情報共有 ・業務見直しについて ・委員会より報告事項
		令和 3年10月22日	・基礎土台（せくれ5本柱） ・法人理念読み合わせ ・入居者様情報共有 ・委員会より報告事項
		令和 3年11月21日	・基礎土台、法人理念読み合わせ ・入居者様情報共有 ・委員会より報告事項
		令和 3年12月16日	・基礎土台（規則規定より） ・法人理念読み合わせ ・入居者様情報共有 ・委員会より報告事項 ・復命研修報告
		令和 4年 1月21日	・基礎土台(コンプライアンス) ・法人理念読み合わせ ・入居者様情報共有 ・委員会より報告事項
		令和 4年 2月21日	・基礎土台（権利擁護） ・入居者様情報共有 ・パッドランク見直し ・委員会より報告事項 ・復命研修報告
		令和 4年 3月18日	・基礎土台(コンプライアンス) ・入居者様情報共有 ・委員会より報告事項
5. ユニット会議	・近藤美喜事業係長	令和3年 4月15日	・入居者様の現況報告

【従来棟】	・北浦佳代カバリーダー ・各従来棟職員 ※各課職員については必要に応じ参加することとする。		・カンファレンスの入居者について ・来月の行事について ・基礎土台、施設計画方針、施設理念、読み合わせ ・役職者会議から
		令和 3年 5月30日	・カンファレンスの入居者について ・勉強会（接遇について） ・役職者会議から ・来月の行事について ・事業計画の読み合わせ ・業務について ・入居者様の現況報告
		令和 3年 6月26日	・基礎土台、社会福祉法人と地域での役割読み合わせ ・各担当から ・業務について ・カンファレンスの入居者について ・事業計画について ・役職者会議より報告・ ・入居者様の現況報告
		令和 3年 7月19日	・カンファレンスの入居者について ・身体拘束研修 ・役職者会議より ・カンファレンスの入居者について ・業務について ・基礎土台読み合わせ ・来月の行事について ・入居者様の現況報告
		令和 3年 8月29日	・役職者会議より ・カンファレンスの入居者について ・業務について ・基礎土台読み合わせ ・来月の行事について ・入居者について ・業務について
		令和 3年 9月23日	・来月の行事について ・研修報告（有効なシーティング） ・業務について ・各担当から

			・入居者様について ・基礎土台の読み合わせ ・入居者様の現況報告
		令和 3年10月21日	・基礎土台の読み合わせ ・行事について ・入居者について ・業務について ・ショートについて ・勤務時間について
		令和 3年11月19日	・入居者様の現況報告 ・カンファレンスの入居者について ・来月の行事について ・基礎土台 ・役職者会議より報告
		令和 3年12月13日	・入居者様の現況報告 ・カンファレンスの入居者について ・来月の行事について ・基礎土台 ・役職者会議より報告 ・行事について ・業務について ・認知症のケアについての研修
		令和 4年 1月23日	・入居者様の現況報告 ・カンファレンスの入居者について ・来月の行事について ・基礎土台 ・役職者会議より報告 ・行事について ・業務について ・身体拘束の研修
		令和 4年 2月19日	・入居者様の現況報告 ・カンファレンスの入居者について ・来月の行事について ・基礎土台 ・役職者会議より報告 ・行事について ・業務について
		令和 4年 3月23日	・基礎、土台についての読み合わせ

		・行事について ・入居者について ・業務について ・褥瘡について研修
--	--	---

6. 特別養護老人ホームせくれ〜Secure〜 委員会の開催状況

施設全体の生活支援を構築する上で、職員各々が検討する場所が確立されることで『バランスのとれた入居者本位のサービス』へ繋がると捉え、入居者の人権の尊重を推進すると共に生活全般について、それぞれ調査・検討及び実践する機関及び各課の共通認識・連携を図る場所として以下の各委員会を開催した。

(令和2年3月31日現在)

委員会名	参加者職氏名	開催日	委員会内容
1. 防火対策委員会	・佐藤裕一施設長 ☆阿部健治防火管理者 ・菅原有佑全体主任 ・及川雅敏部署主任 ・氏家健一 ・小林克彦 ・岩淵聡史	令和 3年 5月 9日	・夜間通報訓練の実施
		令和 3年 5月 29日	・防災訓練内容の検討 ・地域協力委員会振り返り ・夜間通報訓練の反省及び振り返り
		令和 3年 10月 4日	・防災訓練内容の検討 ・地域協力委員会振り返り ・夜間通報訓練の反省及び振り返り
	※コロナウイルス感染症対策により、令和2年3月以降の開催については中止。 (登米市福祉事務所、地域協力員と協議の上、中止を決定)		
2. 安全衛生・感染予防対策委員会	・佐藤裕一施設長 ☆看護責任者 ・近藤美喜事業係長 ・及川雅敏部署主任 ・櫻井順子栄養士 ・前田優也 ・遠藤亜耶 ・高橋花菜	令和3年 4月 16日	・コロナウイルス感染時の対応について
		令和 3年 4月 17日	・感染予防についての確認（感染症、標準予防策について） ・労働者の疲労度蓄積度自己判断チェックリストについて (前回結果と2回目のチェックリスト配布) ・その他協議事項
		令和 3年 8月 13日	・感染予防（口腔ケア） ・職員の疲労度蓄積度自己判断チェックリスト

		令和 3年10月 7日	・各課情報交換 ・現在の状況 ・今後の対応について ・その他
		令和 3年10月15日	・インフルエンザについて ・面会制限と対応について ・疲労蓄積度自己判断チェックリスト集計結果について ・その他
		令和 3年12月17日	・現在の感染症の流行状況について ・今後の対応について協議（面会制限等） ・疲労蓄積度自己判断チェックリスト集計結果について ・その他
3. 給食委員会	・佐藤裕一施設長 ☆櫻井順子栄養士 ・近藤事業係長 ・及川雅敏部署主任 ・菅原可偉 ・高橋花菜 ・岩淵聡史	令和3年 4月 5日	・行事食について ・検食簿のコメント ・ユニット・栄養課・厨房から ・年間予定の説明・確認
		令和3年 6月 7日	・行事食について ・検食簿のコメント ・ユニット・栄養課・厨房から ・脱水予防について（試飲あり）
		令和3年 8月 2日	・行事食について ・検食簿のコメント ・ユニット・栄養課・厨房から ・各食形態について（試食あり）
		令和3年10月 4日	・行事食について ・検食簿のコメント ・ユニット・栄養課・厨房から ・とろみ剤の使用法について（試飲あり）
		令和3年12月 6日	・行事食について ・検食簿のコメント ・ユニット・栄養課・厨房から ・感染症食器の取り扱いについて
		令和4年 2月 7日	・行事食について ・検食簿のコメント ・ユニット・栄養課・厨房から

			・食事介助について
4. 広報・行事委員会	☆今野健太 ・佐藤教充全体主任 ・菅原有佑全体主任 ・及川雅敏部署主任 ・尾形信衛サバリーダー ・前田優也	令和3年 4月 2日	・観桜会について
		令和3年 4月 11日	・観桜会の実施
		令和3年 5月 28日	・幼老交流の実施
		令和3年 7月 19日	・納涼祭について 目的、日時確認 ・内容について
		令和3年 7月 24日	・納涼祭について、実施要領を もとに協議 ・役割等確認 ・模擬店について
		令和3年 8月 6日	・納涼祭について ・アトラクションについて ・地域独居世帯の対応について
		令和3年 8月 24日	・納涼祭の実施
		令和3年 8月 30日	・納涼祭の振り返り
		令和3年 9月 2日	・長寿を祝う会について ・目的日時時間確認 ・当日スケジュール確認 ・役割分担について ・出し物について
		令和3年 9月 16日	・長寿を祝う会実施
		令和3年 11月 1日	・収穫祭について
		令和3年 11月 9日	・収穫祭について ・企画内容について
		令和3年 11月 18日	・収穫祭について ・企画内容・食事確認 ・役割について
		令和3年 11月 20日	・収穫祭の実施
		令和3年 12月 24日	・クリスマス忘年会、暖炉着火式の実施
		令和4年 1月 8日	・新年会について ・日時時間確認 ・当日スケジュール確認 ・役割分担について ・出し物について
		令和4年 1月 13日	・新年会実施
5. リスクマネジメント・サービス向上委員会	・佐藤裕一施設長 ・近藤美喜事業係長 ☆佐藤教充全体主任	令和3年 4月 18日	・委員会年間活動計画について ・現状におけるサービス提供上の 課題及び要望について

※委員会の内容 ・苦情処理に関すること ・事故防止に関すること ・身体拘束に関すること ・施設サービス全般の向上に関すること	☆及川雅敏部署主任 ・佐藤美和部署主任		・事故・ヒヤリハットの分類と対策について ・施設内身体拘束廃止に関する指針の確認 ・身体拘束の有無 ・定義されていない入居者の言動の制限等の有無について ・施設内部研修会の実施について(身体拘束について)
		令和 3年 6月 20日	・苦情内容の確認、 ・苦情再発防止策の確認 ・事故・ヒヤリハットの分類と対策について、今後につなげるためにどうするか ・施設内身体拘束状況の把握、確認 ・身体拘束の有無 ・自己点検シートの導入について
		令和 3年 8月 20日	・苦情報告と対応方法の検討 ・事故・ヒヤリハットの分類と対策について ・施設内身体拘束廃止に関する指針の確認 ・身体拘束の有無 基礎意識、身体拘束の定義 ・身体拘束ゼロのために、相手の気持ちになって考える
		令和 3年 10月 22日	・苦情報告と対応方法の検討 ・事故・ヒヤリハットの分類と対策について ・施設内身体拘束廃止に関する指針の確認 ・身体拘束の有無 ・選ばれる施設となるために ・その他
		令和 3年 12月 19日	・苦情報告と対応方法の検討 ・事故・ヒヤリハットの分類と対策 ・身体拘束の有無

			・来年度の委員会開催日程について ・ヒヤリハット報告書の対策について検討
		令和 4 年 2 月 20 日	・苦情報告と対応方法の検討 ・事故・ヒヤリハットの分類と対策 ・身体拘束の有無 ・予知トレーニング
6. 入居判定委員会	・佐藤裕一施設長 ・近藤美喜事業係長 ・佐藤教充全体主任 ☆氏家生活相談員 ・看護責任者 ・栄養士 ・菊池誠志ケアマネジャー ・阿部健治 ・嘱託医 ・法人監事 (第三者委員)	令和 3 年 5 月 31 日	・今年度の委員会活動予定について ・入居者及び入居待機者状況について ・入居待機者の優先度判定、その他
		令和 3 年 8 月 30 日	・入居者及び入居待機者状況について ・入居待機者の優先度判定、その他
		令和 3 年 11 月 29 日	・入居者及び入居待機者状況について ・入居待機者の優先度判定、その他
		令和 4 年 2 月 28 日	・入居者及び入居待機者状況について ・入居待機者の優先度判定、その他 ・来年度の開催日程の確認
7. 褥瘡防止委員会	・佐藤裕一施設長 ☆看護責任者 ☆看護師 ・近藤事業係長 ・生活相談員 ・栄養士 ・北浦佳代ケアリーダー ・遠藤亜耶	令和 3 年 4 月 16 日	・褥瘡の好発部位と良肢位について ・褥瘡予防ケア ・褥瘡現状報告 ・その他
		令和 3 年 6 月 17 日	・褥瘡現状報告 ・褥瘡発生のメカニズムと防止 ・各課からの情報交換 ・その他協議事項
		令和 3 年 8 月 13 日	・褥瘡の発生と関連のあるモニタリング項目について ・褥瘡の現状報告 ・褥瘡に関するケア計画書・褥瘡について ・各課との情報交換 ・その他
		令和 3 年 10 月 15 日	・褥瘡現状報告 ・各課との情報交換 ・褥瘡予防ケア ・その他
		令和 3 年 12 月 17 日	・現状報告 ・各課との情報交換 ・その他
8. イキイキ生き甲斐委員会	・佐藤裕一施設長 ☆菅原有佑全体主任	令和 3 年 5 月 7 日	・委員自己紹介
		令和 3 年 7 月 2 日	・委員会年間計画について

(平成 31 年度新設)	・生活相談員 ・栄養士 ・看護責任者 ・高橋花菜 ・小林克彦	令和 3 年 9 月 3 日 令和 3 年 11 月 5 日 令和 4 年 1 月 7 日 令和 4 年 3 月 3 日	・介護ロボット研修について ・介護ロボット使用状況について ・ロボット使用アンケートについて ・ワークショップ ～職員の働きやすい職場とは～
--------------	--	---	--

※☆印は委員会の委員長及び担当者とする。☆印の多数の委員会については、委員長を互選で決定することとする。

7. 職員の資質向上策と福利厚生

社会福祉施設における役割には大きな期待が寄せられております。それに応える職員の資質向上と変化の激しい福祉施設のニーズの多様化に対応するため各種研修会へ積極的に参加し、職員間の連携と共通認識をより深めるため、内部研修も開催して参りました。また、人間性を重視した人材の育成に力を入れ、福祉施設の専門職員としての自覚と資質の向上に努めるとともに、職務に関連した資格取得の励行に努めて参りました。

(1) 外部研修

(令和 4 年 3 月 31 日現在)

日 時	研 修 名	研修場所	主 催 者	参加職員名
7 月 29 日	特定処遇改善加算説明会	登米市	登米市	1 名
7 月 30 日	経営協セミナー	仙台市	仙台市	1 名
8 月 25 日	食事の選択、変更のタイミングと食事	仙台市	全国高齢者施設看護師会	1 名
9 月 7 日	ユマニチュード入門 1 日間コース	東京都	ユマニチュード学会	5 名
9 月 15 日	食の不良姿勢に有効なシーティング	仙台市	全国高齢者施設看護師会	1 名
9 月 20 日	介護技術ステップアップ講習会	仙台市	宮城県社会福祉協議会	4 名
10 月 9 日	コミュニケーション技術	仙台市	宮城県社会福祉協議会	2 名
10 月 24 日	制度背景から読み解く介護・医療事業所経営セミナー	仙台市	福祉よりよく ねっと協会	1 名
10 月 26 日	ユマニチュード入門 1 日コース	仙台市	ユマニチュード学会	4 名
10 月 29 日	働く人の健康確保 & 治療と仕事の両立支援セミナー	栗原市	瀬峰労働基準監督署	1 名
11 月 11 日	自立支援を進める為のアドバイザー研修	登米市	東部保険福祉事務所	1 名
11 月 21 日	労務管理セミナー	仙台市	宮城県社会福祉協議会	1 名
12 月 24 日	令和 3 年度高齢者権利養護推進研修	仙台市	NPO 法人 エール	2 名
令和 4 年 2 月 6 日	新型インフルエンザ等対策研修会	登米市	登米保健所	1 名
令和 3 年度 随 時	登米市東郷小学校「お話を聞く会」に伴う講師派遣	登米市	登米市東郷小学校	0 名 ※今年度実績

(2) 内部研修

施設サービスの向上と各課、職員個々のスキルアップを目的とし、講師又は施設職員を中心とし、特別養護老人ホームせくれ～Secure～所内研修会を開催致しました。

日 時	研 修 名	研修場所	主 催 者	参加職員名
4月5日	オムツ研修	特別養護老人ホームせくれ	ユニチャーム	職員 1名
5月10日	オムツ研修	特別養護老人ホームせくれ	ユニチャーム	職員 1名
5月20日	従来棟 接遇についての研修	特別養護老人ホームせくれ	岩淵事業課長	職員 6名
6月7日	オムツ研修	特別養護老人ホームせくれ	ユニチャーム	職員 1名
7月5日	オムツ研修	特別養護老人ホームせくれ	ユニチャーム	職員 1名
7月12日	ユニット棟 身体拘束について	特別養護老人ホームせくれ	近藤部署主任	職員 5名
7月15日	サービスマニュアル (介護現場のリスクマネジメント)	特別養護老人ホームせくれ	近藤部署主任	職員 8名
7月22日	個人情報、プライバシーマニュアルについて内部研修	特別養護老人ホームせくれ	近藤部署主任	職員 9名
7月26日	施設内研修勉強会 (口腔ケアについて)	特別養護老人ホームせくれ	近藤部署主任	職員 5名
7月26日	施設内研修勉強会 (食中毒・感染予防対策)	特別養護老人ホームせくれ	近藤部署主任	職員 5名
8月2日	オムツ研修	特別養護老人ホームせくれ	ユニチャーム	職員 1名
8月15日	ユニット棟 高齢者虐待防止について	特別養護老人ホームせくれ	尾形信衛バリーダー	職員 5名
9月5日	復命研修 むせ込み・食事ケアについて	特別養護老人ホームせくれ	近藤部署主任	職員 6名
9月6日	オムツ研修	特別養護老人ホームせくれ	ユニチャーム	職員 1名
10月4日	オムツ研修	特別養護老人ホームせくれ	ユニチャーム	職員 1名
11月1日	オムツ研修	特別養護老人ホームせくれ	ユニチャーム	職員 1名
12月6日	オムツ研修	特別養護老人ホームせくれ	ユニチャーム	職員 1名
随 時 ※職員入職時	新人職員研修	特別養護老人ホームせくれ	各役職者 (係長、主任職以上)	随時 ※職員入職時

(3) 職員の福利厚生の実施内容

職員の健康管理と施設内感染の予防を目的とし、健康診断及びインフルエンザ予防接種並びに腰椎検査、感染症対策へ万全を期してきました。

(令和4年3月31日現在)

健康診断	対象者：全職員 受診数：26名	場所：サンクリニック
腰椎検査	対象者：直接処遇職員 受診数：15名	場所：サンクリニック
インフルエンザ予防接種	対象者：全職員 接種者数：20名	場所：特別養護老人ホームせくれ
ノロウイルス検査	対象者：栄養課・厨房職員 受診数：4名	場所：特別養護老人ホームせくれ
腰痛予防サポートジャケット	対象者：全職員	職員介護負担軽減対策として整備

8. 避難訓練の実施状況

発見、消火、通報、避難誘導の基本を職員一人一人が理解することで、非常時においても適切な対応が図れるよう、以下のとおり避難訓練を実施致しました。

(1) 避難訓練の内容

(令和4年3月31日現在)

月 日	訓練内容	出火場所	参加者数		所要時間
			入居者	職 員	
6月18日	総合防災訓練（通報訓練・消火訓練・避難誘導訓練）	厨 房	31名	28名	13分 47秒 ※夜間想定

(2) 消防署からの講評

訓練前にお伝えした「ゆっくり、落ち着いて、確実に」がしっかりと意識された良い訓練でありました。館内放送もゆっくり、聴きやすいように伝えており、現在の状況が入居者、職員も把握できたと思います。また今回から導入された避難完了済みカードも地域の方々から見やすいとの評価があり、避難誘導も効率的に行えていたと思います。今後さらに良くするために、次のことも意識して取り組んでみてください。

- ・訓練が実施要領のとおりに行動しすぎている。「目の前で本当に火災が起きている」という意識で取り組む。
- ・消防設備を有効活用し、避難の優先順位をつける。

9. 施設行事実施状況（全体行事）

（令和4年3月31日現在）

月 日	行 事 名	場 所	参加者・団体
4月11日	観桜会	特別養護老人 ホームせくれ	入居者、職員
4月19日	喫茶・Café“せくれボックス” 「フルーツパフェ・フェスティバル」	特別養護老人 ホームせくれ	入居者、職員
5月14日	喫茶・Café“せくれボックス” 甘味処せくれ「お汁粉、葛餅」	特別養護老人 ホームせくれ	入居者、職員
6月11日	お茶っこ飲み会	特別養護老人 ホームせくれ	入居者、職員
7月12日	居酒屋・ふれあい乃瀧 ビアガーデン せくれ「BBQ 祭り」	特別養護老人 ホームせくれ	入居者、職員
8月8日	喫茶・Café“せくれボックス” カキ氷・ところてん	特別養護老人 ホームせくれ	入居者、職員
8月19日	お茶っこ飲み会（大運動会）	特別養護老人 ホームせくれ	入居者、職員
8月24日	納涼祭	社会福祉法人 ふれあいの里	入居者、職員
9月12日	居酒屋・ふれあい乃瀧 中華飯店せくれ 「焼きそば、ビール」	特別養護老人 ホームせくれ	入居者、職員
9月20日	長寿を祝う会	特別養護老人 ホームせくれ	入居者、職員
10月10日	喫茶・Café“せくれボックス” 甘味処「お汁粉、わらび餅、柿、梨」	特別養護老人 ホームせくれ	入居者、職員
11月9日	収穫祭・芋煮会	特別養護老人 ホームせくれ	入居者、職員
12月24日	クリスマス忘年会 「サンタさん、来訪スペシャル！」	特別養護老人 ホームせくれ	入居者、職員
令和4年 1月11日	新年会（家族会合同行事）	特別養護老人 ホームせくれ	入居者、職員

※令和4年2月・3月は入居者の感染症（コロナウイルス等）流行のため、行事等を延期・中止。

10. 地域との連携状況

（令和4年3月31日現在）

※令和3年度は、感染症（コロナウイルス等）流行のため、行事等を延期・中止。

11. 地域における公益的取り組み

社会福祉法の改正に伴い法人事業計画へ記載されているとおり、法第24条第2項へ準拠した取り組みを実施するとともに事業所が所在する地域の現況へ応じた取り組みを計画して参りました。

※令和3年度は、感染症（コロナウイルス等）流行のため、行事等を延期・中止。